

岡山市立図書館 小史



1 戦前の岡山市立図書館 (大正7年～昭和20年6月28日)

山本唯三郎の寄附で大正7年に開館した岡山市立図書館（当時の名称は岡山市立岡山図書館）は、鉄筋コンクリートで造られたルネサンス様式の堂々たる建築で、市内の小橋町（現、中区小橋町一丁目）にありました。跡地には現在、岡山市福祉文化会館や岡山市立市民文化ホールなどが建っています。



2 戦災後、円常寺客殿に設けられた図書館仮事務所 (昭和20年7月1日～7月31日)

岡山市立図書館長の吉岡三平は、戦災の翌々日から東山の円常寺で客殿を借り、仮事務所の表示を掲げて図書館を絶やさないようにしました。



3 旭東幼稚園に仮事務所を移転 (昭和20年8月1日～8月8日)

一ヶ月後、岡山市の施設である旭東幼稚園に仮事務所を移しますが、旭東小学校および幼稚園など、戦災を免れた教育施設は校舎を焼失した市内中心部の学校・園の児童の受け入れ先にもなり、やがて満杯状態になったものとみられます。

なお、明治41年竣工の旭東幼稚園舎は現在、岡山市立中央図書館の敷地内に移築され、初期の幼児教育施設の貴重な遺構として国指定重要文化財になっています。国富友次郎は26歳で岡山市深柢尋常小学校長および深柢幼稚園長に就任して以来、岡山市では低迷していた幼児教育の向上に取り組みました。明治33年に旭東幼稚園の前身の環翠幼稚園で岡山県吉備保育会を発会させ、明治42年には東京女子高等師範学校で幼児教育を学んだ折井彌留枝を和歌山から招聘し、竣工したばかりの旭東幼稚園で実践と指導にあたらせるなどして、岡山が全国有数の幼児教育の先進地に育つのに大きい役割を果たしました。



4 弘西国民学校2階に仮事務所を移転 (昭和20年8月9日～11月26日)

市内弓之町にあった弘西国民学校は、昭和11年改築の鉄筋コンクリート造の建物で、戦災を免れ、空襲の直後から昭和20年9月30日まで臨時市役所が置かれました。図書館もここを仮事務所とし、国富家文書の分類・整理作業が行われました。



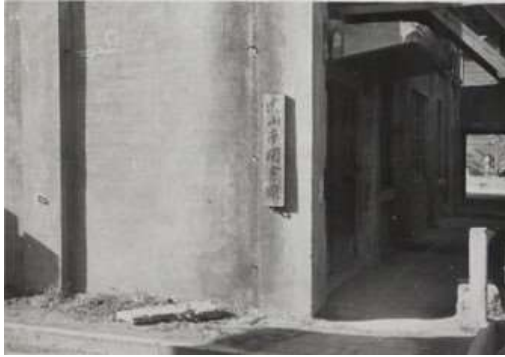
5 内山下国民学校の講堂控室で図書館を開館 (昭和20年11月27日～21年8月11日)

弘西国民学校と並んで戦前に鉄筋コンクリート造で建てられていた内山下国民学校（昭和22年に内山下小学校と改称）も戦災を免れ、昭和20年10月1日から昭和24年6月18日まで臨時市役所となっていました。図書館はこの学校の講堂の控室を使用して12月1日から館内閲覧を開始し、翌年1月6日から館外閲覧も始めました。



6 岡山市公会堂内に移転 (昭和21年8月16日～24年1月17日)

復興が始まり被災世帯の児童が次々と帰ってくると、被災を免れた校舎に収容しきれなくなります。現在の岡山県庁付近にあった岡山市公会堂は、昭和24年の岡山産業文化大博覧会を機に、爆撃で破壊された屋根を修理して再開されますが、それまで図書館は、ここで2年半にわたり活動しました。



7 深柢小学校内の旧水道局倉庫へ一時移転
(昭和24年2月1日～6月19日)

現在は川崎医科大学救急医療センターがある場所（北区中山下二丁目）には、戦前は岡山市役所があり、戦後はここへ西隣の敷地から深柢小学校が移転していました。その中に空襲で被災したコンクリート造の旧水道局倉庫が残っており、図書館はここへ一時移転しました。



9 烏城公園内に一時移転
(昭和36年5月9日～8月31日)

石山に市民会館と山陽放送会館を建設することになり、図書館は用地が確保されて本格的な移転先が決まるまでの間、烏城公園内にあった岡山市立科学博物館の建物へ一時移転しました。

この建物は、新築の岡山県庁舎と烏城公園を会場とに、昭和32年3月20日から5月10日まで開催された岡山県主催の岡山産業文化大博覧会で、岡山城本丸「中の段」に建てられ、国鉄館、専売館、郷土館が入った建物を、岡山市が児童科学博物館に改修・利用していたものでした。



8 石山に移転
(昭和24年10月27日～昭和36年4月9日)

図書館は、現在は山陽放送会館が建っている石山（北区丸の内二丁目）へ昭和24年6月25日までに移転を終え、10月から開館して約11年半にわたり活動しました。本館は、岡山市主催で昭和24年3月19日から60日間、烏城公園などで開催された岡山産業文化大博覧会の教育館の木造建物を改築したものでした。国富家文書など貴重資料も収蔵していましたが、昭和28年9月8日にコンクリートブロック造の書庫が付設されました。



書庫



10 下石井公園内に移転
(昭和39年12月1日～昭和58年)

鉄筋コンクリート造4階建の本格的な施設が下石井公園内に建設され、図書館はしばらく腰を据えて活動をしました。

しかし、もともと公園用地であったことから緑地計画により敷地の制約があり、昭和58年4月27日には北区二日市町に岡山市立中央図書館が開館して中央館の機能が移ることになりました。そしてもとの場所には現在の幸町図書館が整備されました。